友愛

発行所
友愛青年連盟
東京都 文京区音羽 1-7-1
電話 東京(941)2801
発行人　渡部文雄
編集人　田中恭一
定価1部　70円

綱　領

一、われらは、自らの尊厳にめざめ相互の人格を尊重し健全明朗な友愛社会の実現に邁進する。

一、われらは、民主主義の健全な発展のために、全体主義を排除し、日本国民として公正な識見を確立する。

一、われらは、科学技術の振興と生産の増強をはかり健康で文化的な福祉国家の建設に挺進する。

一、われらは、全世界の人間的つながりのもとに国際連帯の意識を養い、もって世界平和と人類の福祉に寄与する。

新時代への足音—友愛24

全国大会メーン・テーマ

大会スローガン

☆25周年に向けて友愛の総力を結集しよう

☆街づくり全国キャラバンを成功させよう

☆パシフィック・コミュニティを推進しよう

☆47県連をめざして組織拡大を進めよう

社会へ広がる運動を

全議題の本部案固まる

「新時代への足音——友愛24」をテーマに、第二四回友愛青年連盟全国大会は四月一六・十七日の両日、東京・よみうりランド学生ホテルに全国各組織からの代議が出席して開催される。来年にせまった友愛二五周年を前に今大会は、運動展開のあり方を再確認し、会綱領にもとづき本連盟が社会に影響力を発揮できる青年団体として、事業内容、組織力ともにさらに向上させるための諸計画を審議決定することを目ざしている。大会運営も、代議員資格を厳密にして集中審議をすすめる計画である。今大会が、二五周年以降の友愛運動に向けて、力強く足音を踏み鳴らして前進を開始する場となるよう、本部および出席代議員の真剣な討議が望まれる。（議題案二・三面に掲載）

大会代議員名簿も、続々と送られて来ており、本部事務局での開催準備は大ヅメになっている。

大会に上提される全議題の事務局原案はすでに作成され、代議員による徹底審議をまつばかりだ。この議案の中で特に注目すべき点は、運動方針では、「人間尊重・自由主義をうたった綱領を前面に打ち出し、友愛社会の建設に向けて政治、経済、文化その他あらゆる社会的問題に積極的に取り組み、その改革をすすめて行く」との姿勢を明らかにしていることである。そして、運動のダイナミックさを取りもどすために「既成の概念にとらわれることなく多角的な視点に立った運動を展開する」こと、友愛主義にもとづく「行動する指導的な青年集団の形成を目ざす」とし、今大会を友愛の「新運動」の出発の時にしようとしている。

こうした姿勢に立って、われわれの日常生活から切り離すことのできない地域社会の問題に取り組む″友愛のある街をつくる運動″をさらにすすめる一方、国際的な運動としてのパシフィックコミュニティ・プランの推進を掲げている。このような多角的、立体的な活動・運動展開により、個人から世界につらなる同心円の輪の中に友愛社会を建設して行こうとするものである。

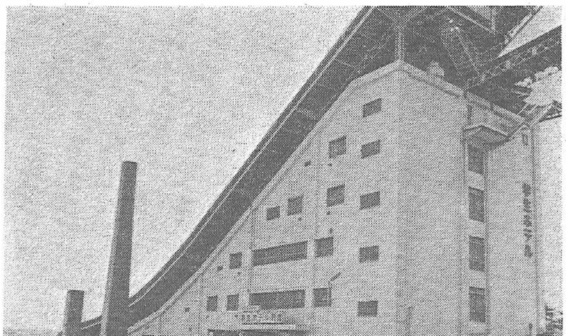
この運動方針にそって事業計画では、街づくり運動、国際活動、学習、研修活動、広報活動等のそれぞれについて、一層の強化を目ざしている。街づくり運動では、調査活動や普及キャラバン隊の派遣を計画しているほか、五一年度に取り組んだ″集い″や普及用ステッカー販売を充実強化して行く。また、学習研修活動を通じて友愛主義を学び、社会を見る目を養う一方、広報活動を強化して運動の社会への広がりを目ざすことになる。

本連盟は、組織的活動の展開によって友愛を広めようとの姿勢で慣ぬかれている。このため、組織活動方針では、なによりも今必要なことは、組織化の拠点を拡大し、四七都道府県の全てに連合会を結成することだとしている。この方針から、会費制度の改革を具体的な対策として打ち出している。

このほか本大会には、来年に迎える二五周年を記念する諸事業の計画案も出される。原案では、記念大会を五三年四月に開催するほか、運動史の刊行なども盛り込まれている。

◇　◇

第二四回全国大会の会場となるよみうりランド学生ホテルは、多摩丘陵の一角に広がる「よみうりランド」の中にある。ここには、遊園地のほか大水族館、フィールド・アスレチックなどの施設もある。また、隣接して読売巨人軍の宿舎、生田スタジオや時代劇撮影用のオープンセットがある。学生ホテルは約一四〇室、大小会議室を持ち、特別な時間の制約がないこともあって、われわれの会合には適している。もち論、飲酒も可であるが、大会参加者は運営委員会の指示に従って行動すべきである。


大会々場となる学生ホテルの一部。多摩丘陵の一角にあり、斜面にそって多くの施設がある。

大会は予定通り開催します

大会の開かれる四月一六・一七日には、国鉄、私鉄のストライキが予想され、全国から、大会開催を危ぶむ声が本部事務局に寄せられている。

本部では、必要な対策を取るとともに、次の理由から第二四回全国大会を予定通り開催する。

一、国鉄ストは、一七日、国電のみ、であり、東京都内での足は往路、復路とも確保できる。

二、大会を延期すれば、会場手配や月末、連休等の関係で五月中旬以降の開催となり、事業実施に大きな障害が起る。

◇　◇

大会々場のよみうりランド学生ホテルへの交通は、大会招集状に示したものを多少変更し、次のようになります。

16日・往路——上野、東京両駅からは、国電山手・総武・中央各線を使い新宿駅へ（招集状と同じ）。羽田空港からは東京モノレールで国電浜松町駅—山手線で新宿へ。新宿駅からは小田急線（ストに参加しない）の普通電車で三七分、「読売ランド前駅」で下車。そこから小田急バスで会場へ入れます。同駅前ではスタッフが案内します。

17日・帰路——往路と同様の方法で新宿駅へ出て、その後は本部で用意する車を利用して各主要駅・空港へ向って下さい。

三重県連が再出発

上野、桑名の恋が実る

三重県支部連合会は三月二七日桑名市安永青年会館で大会を開催し、会長に坂野靖彦君（桑名支部）を選出して再出発した。同県連は昭和三六年に結成されたがその後、活動が停滞していたもので、伊賀上野支部と桑名支部の手でこの日を迎えたものである。

両支部は一昨年来、支部交歓会を数度にわたって行なって来ており、上野の福森恒夫元支部長と桑名の岩田邦彦支部長の熱意と両支部役員、会員の努力が実ったわけである。

当日は本部から、岡本省三組織部長と丹羽恵造近畿担当中常任が出席したほか、地元の山川昇氏らOBや渡辺義隆第十二次東南ア団相談役（岐阜在住）らも列席し、この快挙を祝い合った。

深津副会長訪米へ

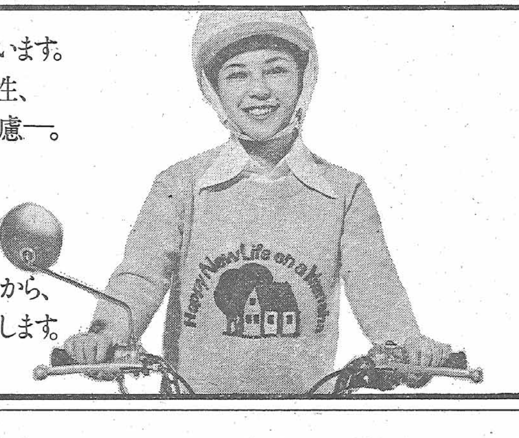
探津栄一副会長は、最近パシフィック・コミュニティ・プラン（注）の研究に没頭されている。この度その研究の成果を学会で発表するために四月一〇日に訪米される。

学会は、アメリカ国際法学会で世界の国際法の権威者が参集しニューヨークで開催されることになっている。

本連盟では、従来の国際交流活動をさらに拡大し、パシフィック地域との青年交流も深めて行く方針であることから会の成果を期待したい。

なお、萩原恭二参与も同行し学会に出席することになっている。

（注）アメリカ、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド、日本の大平洋五ヶ国が連合し世界平和に寄与するとともに、自由貿易圏をつくって相互の経済発展を計ろうとする構想。


バイクはいま、日々の暮しの中を走りはじめています。
誰にでも乗れる手軽さ、小まわりのきく行動性、
安い維持費、そして安全へのこまやかな配慮—。
さまざまな利点から、生活の新しい足として
バイクの本当の価値が見直されて
きたのです。あなたもたしかな暮しのために
バイクを役立ててください。ヤマハはそのときから、
あなたの生活に《新しい充実》をおとどけします。

バイクでニューライフ
Happy New Life on a Bike
YAMAHA

●50ccバイクは普通免許・原付免許でお乗りになれます。はじめての方は〈ヤマハ原付免許教室〉へどうぞ。
●ご利用ください。手続きかんたん、支払いらくらくの〈ヤマハらくらくクレジット〉。わずかな頭金で お好みのバイクがすぐ手に入る新しい買い方です。

マナーを守って さわやかバイク　ヘルメットをかぶろう 定期点検をうけよう

ヤマハ発動機株式会社

昭和五二年度運動方針（案）

社会的問題への取り組みを

人間尊重、自由主義の綱領をもとに

内外ともに混迷する社会情勢にあってわれわれの求める友愛社会の理想を建設する作業は容易なことではない。しかしいつの時代でも幾度かの困難を乗り越え、夢と希望を失なわずに、その時代、時代の役割を担って来たという二四年の伝統と歴史的事実がわれわれに新たな勇気を与えて下れる。

今日までの二四年間、財政難をはじめ組織の伸び悩みや社会的圧力などに打ち勝ち、友愛山荘建設運動や青年の国際交流活動などいち早く時代に先駆け特に官民の社会教育の面に大きな功績を残して来た。また政・財界などあるゆる分野に多くの人材を輩出しているなど有形・無形を問わず本連盟に対する社会的評価は極めて高い。

創立二五周年を来年に控えた今、われわれは充分な評価と反省の基に、内外の諸情勢を的確に把握し社会の動きに対応した運動を展開し二四年の伝統を将来に延長させて行く。

内外の諸情勢

1、世界の情勢

カーター新政権が始動した米国、華国鋒体制で歩み出した中国、そしてブレジネフ色を一層強めるソ連の七七年の国際政局は、米中両国の政権交代もあり、いわゆる米中ソ三極構造に多少の動きをはらみながらも大きな情勢の変化はなく展開している。

このように世界の主要国の政権が、現在の国際政治のバランスをくずす大きな変化を生むような外交を展開するとは考えられない。基本的には現在の力のバランスを維持することによって国際政治の安定を保持する姿勢が続くものと考えられる。

このような静かな情勢の中にも、カーター米大統領の全体主義国家に対する人権外交は新たな波紋を投げかけている。われわれはこのカーター大統領の人権外交に対し、大いなる賛意を表するものである。同時にこの人権外交が全体主義の国家体制に何らかの改革の影響を及ぼして行くことを期待したい。しかし反面、このカーター人権外交は全体主義国家を刺激し力のバランスの上に成り立っている世界の平和に悪影響を及ぼすとの見方もある。とりわけソ連の反体制運動に公然と支持を表明するというカーター外交が、ソ連との緊張緩和にヒビ割れをきたし、戦略兵器制限交渉（SALTⅡ）等に重大な影響を与えはしないかという懸念も持たれている。

一方、大局的には静かな世界情勢とは裏腹に先進国においては、高福祉高負担路線の行きづまりなどから与党が選挙戦で相次ぎ敗北ないしは後退を余儀なくされ、また途上国では強権政治への傾斜をより強めているなど各国の政権が国内の政情安定に苦慮するという混迷した状況が続く。

また国家間の共同ないしは接近の動きが顕著で、特に東南アジアにおけるASEAN（東南アジア諸国連合）ヨーロッパにおけるEC（ヨーロッパ共同体）の動きが治発化しておりこれらの動きは、国家統合の視点から極めて注目される情勢である。

2、国内の情勢

わが国と世界とかかわりはますます深まる傾向にある。世界の潮流は、直接的にも間接的にもわが国に大きな影響を及ぼしている。とりわけ領海、専管水域の問題、は、海洋国日本にとって大きな衝撃であり国民一人一人の今日的重大事件となっている。

また経済情勢は、依然低迷が続き景気は底割れの危険とをもはらんでいる。また核エネルギーの問題いさらには財政硬直化、環境保善福祉等々の諸問題が山積している。

一方政局は、保革伯仲の状態にあり夏の参議院選では与野党逆転あるか否かが最大の焦点となっている。さらに新自由クラブの誕生、江田新党の動きなど政界再編成が進み、西欧諸国に見られる、党乱立に似た傾向を強めようとしている。

このように外交、内政の難題に政党乱立という不安要素が加わって政情不安は一層深まる傾向にある。

物質主義から友愛主義への価値観の転換を

経済の低迷、政局の不安、さらには国際問題が複雑にからみ増々混迷の度合を深めている今日の社会情勢は、高度経済成長時代から低成長時代への転換期を象徴している。

このような社会情勢下で国民はどのような価値観をもってどう対応して行くべきであろうか。あのオイルショックに襲われるまでの豊かな時代では、社会のひずみやデコボコを物的な豊かさでうめ合わせ人々の不満をカバーして来た。しかし低成長時代に入った今日では、政府、自治体はもちろん国民も同様に物的な豊かさで物事を解決するという手段はだんだん取れなくなって来た。それにもかかわらず国民は依然として物質万能の思考を転換できないでいる。

政党乱立、福祉の後進、財政硬直化、企業活動の低滞、労使関係の悪化、受験戦争等々の多くの社会問題は、時代の変化に対応できないで右往左往している日本の姿の表われに他ならない。

われわれは以前より、このような時代に備えてというよりもっと本質的な観点から「物質主義から友愛主義」への価値観の転換を学び、そして社会に叫びつづけて来た。だが人間は一度身につけた習慣の変更は苦痛なことであり容易なことではない。われわれ自身も運動を通して学んで来たことを、社会生活の中で、どれだけ実践して来たかを顧るとはなはだ心細い限りである。

われわれは、このような時代の変革期に生きていることを認識し国民の意識を「物質主義から友愛主義」への転換に高め、本当にやすらぎのある社会、生きがいのある社会を創るために行動を高めて行かなければならないことを痛感する。

運動の基本的姿勢

内外の厳しい社会情勢に友愛運動はどう対応しようとしているいか——という社会の問いかけにわれわれはどう答えて行くかが、われわれに課せられた最大の命題である。運動1／4世紀に入ろうとしている今、厳正な評価と反省い上に立ち、新生友愛を目ざし運動の発展に努力しなければならない。

その姿勢として友愛運動は、人間尊重、自由主義をうたった綱領を前面に打ち出し、友愛社会い建設に向けて政治、経済、文化その他あらゆる社会的問題に積極的に取り組み、その改革を進めて行く青年の運動であることを再認識する。

そして

①われわれの運動が近年、社会教育の範囲に偏し、運動がダイナミックさを欠き社会い変化に充分対応できなかったことを反省し、社会教育という既成の概念にとらわれることなく多角的な視点に立った運動を展開する。

②友愛主義を学び友愛の理想社会を究明し、行動する指導的な青年集団の形成を目差す。

以上の二点を確認し、今大会を友愛の新時代・新運動の幕げ、出発の時とする。

運動の柱

われわれの求める友愛社会は、あくまでも人間を第一義として考える。それは家族—地域社会人—県民—国民—世界人類という同じ人間のつながりとする同心円の理論を活動理念として、生活に密着した地域社会のことから国際的な面に及ぶ多角的、立体的な活動を展開する。

国際活動としては、従来からのアジア地域青年との連帯を強めて行く一方、新たにパシフィックコミュニティープランに基づいた太平洋地域との青年交流を広めて行く。

また昨年から取り組んで来た友愛のある街をつくる運動を継続し、自治意識の高揚と自治権確立を目ざす。

(1)、太平洋地域五ヶ国青年の交流

従来のアジア近隣諸国を中心とした世界各国との青年交流に加え、太平洋地域との交流を広めて行く。具体的には、パシフィックコミュニティープランを学究する一方、互恵平等の原則に立ってアメリカ、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド、日本の五ヶ国青年との人事交流を進め、組織化を計る準備を進める。

(2)、友愛のある街をつくる運動

都市の過密と農村の過疎化はともに人間疎外を生み、深刻な社会問題である。この現在を放置すれば政治、経済、文化さらには生活いルールなど社会の機能や人間関係は、ますますマヒしいびつになっている。

われわれは、このような地域社会の崩壊に対応した運動を興こし、活力ある社会の創造を目差し、自治意識の高揚と自治権の確立を計るために友愛のある街をつくる運動を活動の支柱として、地域社会において先覚的かつ指導的役割を果たして行く。

昭和五二年度組織活動方針（案）

まず、オルグを強化

組織拡大へ会費制度改革も

1、組織三ヶ年計画

本年は25周年を目標とした組織三ヶ年計画の二年目に当たる。当初の方針の一部手直しをするが、骨子には変更がない。本年度は、友愛の街づくり運動を活動の柱とした組織活動に活力を与え、その活力が横への広がり、そして本部へと集約されるという運動の一環性を形づくることを目標とする。

2、今年度の目標

昨年度は①街づくり運動の普及②全国の活動を積み上げ発展させる。の二点に重点を置き対策を進めて来た。組織活動の集約の場として設けた全国活動研究会を見ると、全体の評価として各支部とも真剣に活動を進めている点では高く評価できるが、各地で進められている活動がバラバラであり統一性に乏しく活動の結びつきという共通点を欠いていることに反省し次の点に目標を置く。

①組織拡大、強化のための会費制、機構の改革を行なう。②本部と連合会が一体となったオルグ活動を行なう③街づくり運動の普及と推進に全力を挙げる。

(1)支部の目標

①街づくり運動の展開

②綱領学習

(2)連合会の目標

①街づくり運動の推進に最大目標をおき連合会傘下組織の盛り上げを図る。

②ブロックキャンプに数多くの地区から参加させる対策を講じる③県連と本部とが一体となったオルグ活動を展開し拠点づくりを積極的に進める。

(3)本部の目標

①全国活動研究会の充実。

②街づくり運動の推進。

③25周年を目標に全県に連合会を組織する。

4、会費制の改正

組織拡大と行動する友愛への発展を計るための方策として、会費制を改正する。

(1)会費制の改正

現行の本部納入の支部会費、機関紙購読料を次のように改正する

（現行）

①連合会のある支部

（本部会費一〇〇円＋購読料八〇円）×会員数

②連合会のない支部

（本部会費二〇〇円＋購読料八〇円）×会員数

（改正）

①連合会費

連合会費は、原則として会員数×一〇〇円とするが、連合会独自の決定を尊重する。

②支部会費

支部会員の原則数（二〇名）を基本会費として原則数を超えた分については、その分を加算する形式を取る。特にこれまでの購読料褒賞制をより充実させる。

◎基本会費（原則会員数二〇名）一〇、〇〇〇円とする。

◎二〇名を超える支部は

基本会費一〇、〇〇〇円＋（二〇名を超える人数×五〇〇円）＝支部会費

③地区会費

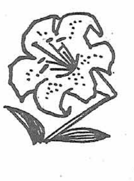
正規の会員登録（二〇名）、支部結成を終えた段階で支部組織とし、それまでは地区扱いとする。

◎地区会員＝一律一〇、〇〇〇円

但し名簿提出を義務づける。

(2)本部執行部機構の強化

本部執行部の組織部、事業部、広報部を強化する。



音羽の桜は、例年より早く満開。（4月2日撮影）

西日本に活発な「胎動」が

四月一日より七日まで、松井広報部長が九州、中国地区に全国大会を控えたオルグを行なった。

一日は、福岡県久留米支部田中大雅支部長らと今後の運動展開について懇談。引き続いて福岡支部の再建を目ざして三ッ井一支部長らと懇談会を行う。二日には、佐賀県佐賀地区の吉次敏孝支部長らと活動状況の相互の情報交換。長崎県長崎支部の副島悦夫支部長らと全国大会へ向けての運動方針に対する懇談。四日は、山口県に渡り山口支部の杉田和則君らと懇談。五日は、広島県広島市において、山陽木村株式会社社長徳井寛二氏に県内の優秀な青年の開拓を依頼。また広島支部奥村斉子支部長らと懇談。六日は岡山県倉敷支部、本連盟相談役加藤六月氏事務所で全国大会の運動方針の説明を行う。岡山市においては岡山支部の渡部忠一氏らに県内の青年の開拓の要請を行う。

全国的に西日本には活発な支部が少いが、今大会を境いにして西日本各地に活発な支部が続出してくるであろう。

新たな構想のもとに、
全思想体系を集大成した決定版
クーデンホーフ・カレルギー全集
全9巻完結！ A5判各一、〇〇〇円
1 クーデンホーフ＝人・思想・行動 パン・ヨーロッパ　鹿島守之助訳編
2 ヨーロッパ国民／ヨーロッパの統合／ヨーロッパにおける女性の使命・他　鹿島守之助・深津栄一訳
3 実践的理想主義／倫理と超倫理／人生の戒律　鹿島守之助訳
4 物質主義からの離脱 技術による革命　鹿島守之助訳
5 ヨーロッパの三つの魂／悲惨なきヨーロッパ／ゼントルマン　鹿島守之助訳
6 自由と人生／友愛の世界革命／戦争から平和へ　鳩山一郎・鹿島守之助・深津栄一訳
7 回想録　鹿島守之助訳
8 第一回鹿島平和賞受賞記録 美の国　鹿島平和研究所編・鹿島守之助訳
9 世界的勢力としてのヨーロッパ・他　鹿島守之助訳

対外経済協力大系
〈本巻10巻／別巻2巻〉
鹿島平和研究所編
1 経済協力の理念と発展　一、九〇〇円
2 低開発地域の諸問題　一、六〇〇円
3 経済協力の形態　一、六〇〇円
4 多数国間の経済協力　二、四〇〇円
5 日本の経済協力　一、六〇〇円
6 主要先進諸国の経済協力　二、五〇〇円
7 アジアに対する経済協力　二、三〇〇円
8 アジアにおける地域協力　一、六〇〇円
9 中近東・アフリカに対する経済協力　一、六〇〇円
10 中南米に対する経済協力　一、六〇〇円
別巻1 重要資料集　一、八〇〇円
別巻2 経済協力実務便覧・関係法令基本文書集　二、三〇〇円
明日を築く知性と技術 鹿島出版会 東京都港区赤坂6-5-13

昭和五二年度 事業計画（案）

街づくり運動の二一年目へ

地域活動、国際活動の拡大と強化を

ここに掲載したものは、全事業の目的と各事業の関連性について提案する部分である。それぞれの事業の細目は、「事業概要」として提示する。

1、友愛のある街をつくる運動の推進

この運動は、同心円の輪に添って地域から地域へ、そして都道府県全体へと運動を拡大し、国民運動への発展を目ざすものである。昨年の第23回全国大会で決議された本運動の三ヶ年計画の最終目標は、「地域の人々の中に友愛のある街をつくる運動への理解と積極的な参加の傾向を生み出す」こととした。この方針に添って今年度の事業をつぎの通りすすめる。

(1)今年度の目標

①地域課題の発見とそれに取り組む活動の展開。

②本運動の目的・趣旨を会員の間で学習し、地域の人々へ普及、啓蒙を図る。

③支部相互に実践結果を交換し、活動展開のプログラムを学び合う。

④青少年団体を中心に地元各種組織との連携を強め、共催事業の実施、本会事業への参加促進を図る。

(2)本部の姿勢と事業

街づくり運動は、地域に密着した活動の展開を基礎に底辺から積み上げて行こうとするものである。したがって、支部・地区での日常的な取り組みが成されることが最も重要である。

そこで本部では、運動の指針となる理論と運動のあり方の提示、支部活動の基礎に立って全国的に実施可能な事業の推進、活動のキッカケとなり得る事業を支部と共働して実施すること、および必要な資料の提供と情報の集約を行なう。

①自由市民を目ざす青年の集い

②普及用ステッカーの販売

③地域社会の問題に関する調査活動

④街づくり普及キャラバン隊の派遣

⑤機関紙によるキャンペーン

⑥ブロック・キャンプ、全国活動研究会の開催

⑦関連団体との連絡強化

⑧その他資料の整備など

(3)支部連合会の役割と事業

傘下各支部・地区の連絡・交流を密にするよう働きかけ、組織間の融和を図り、また全国的な事業の推進を行なう。

①普及用ステッカー販売の推進

②支部交歓会の促進

③ブロック・キャンプの開催

④その他連絡・交流の場の設定

(4)支部・地区活動の原則

支部・地区においては地域性、会員の意識、組織状況等を勘案して適当な地域課題に取り組むこととするが、その活動は次の事を原則とする。

①全国的に実施する普及用ステッカーの販売活動に取り組む。

②各事業は可能な限り会員外の地域の人々に開放し、その参加を求める。また、地元青少年グループとの関係が密になるように働きかける。そのために、本部事業の活用、友愛文化講演会の独自開催機関紙の普及などを行なう。

③「一支部・一ボランティア活動に取り組む。」

④地区友愛学校（支部学習、研修会）を実施する。

(5)実施体制の整備

街づくり推進委員会を充実して体制の強化を図る。未設置の支部連合会、支部での設置を急ぎ、運動推進の核とする。

各レベルの推進委員会の役割は次の事を基本とする。

〔本部・中央推進委員会〕

①支部連合会・支部の推進委員会の設置促進とその活動への助言

②普及用ステッカー販売の推進

③普及、啓蒙のための行動計画の立案

④地方の活動情報と意見の集約と活用

〔支部連合会〕

①支部・地区の街づくり活動への助言、指導

②普及用ステッカー販売活動の推進

〔支部〕

①普及用ステッカー販売活動の推進

2、国際活動

世界青年の人的・文化的交流を通じ相互の誤解と偏見、猜疑心と憎悪心の解消をすすめ、友愛精神に基づく連帯を強める。そのために、相互交流を原則としつつ、アジア地域青年との交流と新に太平洋地域青年との交流に取り組む。

(1)受入れ事業の充実・強化

日本青年の海外への派遣に比べ受入れ事業は一般に低調である。中央の青少年団体では、その比率は三対一であるが、地方自治体においては一〇対一以下で、極端なアンバランスとなっている。こうした実態に目を向け本連盟では、①主催事業の他、各種団体の受入れ事業に積極的に参加し、支部における受入れをすすめる、②地方自治体において派遣者数に見合う受入れを行なうよう行政当局、関係団体に働きかける。

①第四回友愛アジア青年指導者セミナーの開催。

②政府および各種関係団体の事業に参加しその一部を引き受ける

③東南アジアを中心に長期研修生の受入れを可能な限り実施する

④受入れ事業促進のためのアピールを機関紙等を通じて行なう。

(2)海外研修生の派遣と充実

海外派遣では、人的・文化的交流とともに友愛精神の普及がすすめられなければならない。そのために、各種事業の参加者に対する教育を強化し、充実に努める。

①第十三次友愛東南アジア使節団の派遣

②政府、関係団体主催事業への参加促進

③派遣者事前研修会の充実

(3)国際理解と国際性涵養の活動

各国青年との交流を充実させ、国際理解と青年の国際性を伸ばすためには生活体験、言語障壁を越えるための努力が重要である。

①派遣、受入れにおける民泊の強化

②第三回友愛全日本英語弁論大会の開催

(4)パシフィック・コミュニティ構想の取組み

太平洋を囲む日本およびカナダアメリカ、オーストラリア、ニュージーランド四ケ国とは、政治的・経済的にも密接な関係を持ち、それは今後さらに強められなければならない。本連盟では、パシフィック・コミュニティ構想の研究と啓蒙を行なう他、青年の友好関係を築き相互理解を深めるためにこれら諸国の青年の受入れと派遣を重視し、積極的に取り組む。

(1)関係団体の受け入れ、派遣事業への参加

(2)講演会・研究会の開催

(3)出版物等の刊行

(4)関係団体への働きかけ

(5)関係五ケ国の青年団体との提携

3、社会福祉・奉仕活動

社会福祉の向上は、友愛社会実現のためには最も取り組まねばならないテーマである。本連盟は今日の福祉の現状を見すえ、将来のあり方を考えつつ、その改善のために友愛のある街をつくる運動の一環として積極的に取り組む。

①相互尊重・理解・扶助の友愛精神に基づく日常的な個人の実践を促進するための働きかけ。

②市民的なボランティア活動を促進するための「一支部・一ボランティア」活動の実施。

③行政の改善と充実のためのアピール。

4、社会教育活動

社会人として必要な資質、知識判断力を涵養、技能等を身につけることは民主社会を担う青年にとって極めて重要である。しかも、青年および地域の人々が年齢、職業、性別を越えて交流しコミュニケーションを深めることは、友愛のある街をつくる上で必要不可欠なことである。

これらのことをすすめるために会員とともに広く地域住民を対象とする各種活動に積極的に取り組む。

①友愛文化講演会の開催

②講座・研究会等の開催

③友愛山荘を利用したスポーツレクリエーション活動やその他人々の交歓と健康、体力増進を図る活動。

④自然や文化・芸術に親しみ、美意識、感受性の向上を図る活動

5、学習、研修活動

本会々員は、自ら学び、相互に啓発し合って友愛精神を体得し、それを普及して同心円の輪に添って家庭、地域社会、そして国家から世界へと広げて行く友愛運動の機になることを使命としている。そのために、学び実践し、充実した諸活動を展開して普及・啓蒙することが必要である。

（１）活動を積み上げ、プログラムを充実させる

各支部、各個人が学び、実践した結果を持ち寄り、情報交換し議論を重ねてそれぞれの活動を改善し、新たな目標を掲げ、プログラムを充実する。また諸活動の根底にある友愛主義と適格に社会を見る目を養うために学習活動を強化し、必要な資料を整備する。

①地区友愛学校（支部学習・研修会）の実施

②第二回ブロック・キャンプの全国五会場での開催

③第二回全国活動研究会の開催

④第二三回友愛リーダース・キャンプの開催

⑤指導書の刊行

6、広報・出版活動

友愛精神の普及のために広報活動は、最も重要な対社会的活動の一つである。また組織を発展させるためには、組織内部の諸情報の円滑な交流と活動成果のまとめが不可欠である。

（１）機関紙「友愛」の充実と活動

社会認識と友愛運動の普及には機関紙の役割は大きい。その充実のために広く情報を集め、読みやすく、読む価値のある機関紙づくりに努める。

①通信員の拡大、強化と会員投稿の促進

②社会的問題に関する執筆者の獲得

③紙面構成の改善

機関紙を普及資財として生かすために、購読会員の拡大に努める

④機関紙報奨制度の推進

（２）行事参加者の拡大

支部行事に参加し、活動を自ら肌で確かめてくれる人が増えることは、そのまま友愛運動への理解者と参加者を拡大することになる日常のレクリエーション行事等にも、広報活動を確実に実施、強化して会員外の参加者を募る。

（３）普及資料の整備

概存の普及用リーフレットを増刷し、支部等で充分に配布利用できるようにする。また、海外研修や受入れ事業参加者から要請のある英文リーフレットを作製する。

（４）出版物の刊行と充実

友愛運動の理念や諸活動の成果をまとめ、学習、諸活動の積み上げを図る。

昭和五十二年度行事予定一覧（案）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
○24回全国大会（16～17）		ブロック・キャンプ（5/28～6/26）			アジアセミナー（9/7～20）	○全国活動研究会（10/8～10）	東南ア使節団（10/21～11/6）	○スピーチコンテスト（12/11）		○リーダース・キャンプ（2/10～12）		○25周年記念大会
				キャラバン隊派遣（7/下～8/下）			集い（10/下～11/下）			全国オルグ（2/上～3/下）		

二五周年記念事業

運動史の刊行を計画

本会が昭和二八年四月二九日、東京・日比谷公会堂で結成大会を開き鳩山一郎初代会長のもとで、日本全土に友愛運動の輪を広げ出してから二四年。来年は、記念すべき二五周年を迎えることになる。

今大会では、この二五周年を記念する事業の実施を審議決定し、今年から来年にかけて取り組みたい考えである。

事業の内容としては、記念誌の作製、記念大会の開催などが考えられているが、具体的には特別委員会を設置して検討することにしたい。

昭和五二年度

役員選出

役員の選出は、会則第四章第一四条（役員の種類及び定数）、大会議事規則第八章（役員の選挙）第二八・三〇条にもとづいて行なう。主な選出要項は次の通り。

一、名誉役員は、顧問、相談役、参与をそれぞれ若干名とし、顧問は役員選挙委員会推せん、相談役と参与は本部推せんとする。

二、役員は、会長一名と副会長、中央常任委員、中央委員を若干名、また中央常任委員長、事務局長各一名と監査二名、統制委員会の推せんする。

三、役員選考委員会は、各ブロックと本部からの代表各一名と大会の正副委員長、事務局長をもって構成する。

四、役員の立候補および推せんは本人か推せん者が、所定の用紙で役員選考委員会に提出する。提出期限は、四月一六日午後八時とする。

美しさに まごころこめて
メナード
化粧品
●メナードは美容社員が、あなたの鏡台までお届けします。

いま、目覚める たしかなうるおい

いつしか わたしは まだ見たこともない新しい世界に とまどいを感じていた。
白くまぶしい 神々の歴史をひもとくように長い沈黙が破れた。わたしは 私を忘れてしまいそう。いま はじめて目覚める たしかなうるおい メナード・エンタル。

Ental
メナードエンタル
●メナードエンタルグループ〈9点〉

TV提供〈家族そろって歌合戦〉毎週(日)昼1:15～2:25 TBSほか全国ネット

浅丘ルリ子

成人迎えたお母さん

友愛婦人会 二〇周年式典を開く

友愛婦人会（鳩山薫会長）は四月七日（木）茗渓会館にて、文京区長をはじめ多数い来賓と会員二〇〇名が出席して五二年度総会と創立二〇周年記念式典を行った。会長代理より井上副会長、西木幹事長はじめ約一〇〇名に長年の活動、貢献に対して感謝状も送られなごやかに行なわれた。

友愛婦人会は友愛精神を家庭内にもと、主婦を対象に設立され、会員の親睦と社会福祉活動を行ってきた。二〇年前、文京区内の保育園へテレビを寄付したのがはじまりで以後、静岡県ねむの木学園、三鷹市朝陽学園などの養護施設への寄付や慰問品を毎年贈ってきている。今回は文京区長を通じて日赤へ多額の寄付を行った。

日常は本連盟都連の友愛バザーへの出品援助、観劇会、あみ物講習での友愛バッグづくり、毎年一回の旅行会、数回の日帰りバス見学等を行って会員の親睦も行っている。寄付金は、観劇会などから得た収益を積み立てて行なっている。忘れてならない事業は毎年、故鳩山一郎先生の命日にお墓をお参りしその後鳩山邸はなれにて、先生の遺徳を偲んでいることである。

新役員は次のように決定された

会長 鳩山薫、会長代行 井上等子、副会長 高世静子、金田英子、清水つね、幹事長 西木まさ子、常任幹事 四宮菫、三浦静江、会計 川田ひよ志、大仁喜美子、会計監査 宮田愛子、北原まき子、支部長 大塚支部 中内あき子、本富士支部 大仁京子、富坂支部 谷口きよ、駒込支部 金子定子。

〝青年の集い〟

名古屋、宇都宮で開催

◆名古屋市◆

三月六日 午後三時より名古屋市、東別院青年会館において愛知県連（丹羽恵造会長）の「名古屋市地域社会を考える青年の集い」が開催された。

当日は、東京都立大学助教授の倉沢進氏に講演をしていただきました。先生は都市社会が専攻であるので都市の発生、古代エジプト文明の形成の過程から説明されながら、文明論、社会心理学、特に現代の都市のかかえている病理を心理学的にアプローチしていて新しい角度からの都市観のために、出席者との質疑 応答も 活発であり、盛大のうちに幕がありた。

◆宇都宮市◆

三月八日（火）宇都宮支部（吉沢繁一支部長）主催の「地域社会を考える青年の集い」は、午後七時より財団法人栃木県青年会館会議室において行われた。

講演会は、東京より成蹊大学日比行一先生を招いて「現代教育を考える」というテーマで、今年度直木賞受賞作品三好京三著「子育ごっこ」の内容を中心としながら地域社会と教育の関係、特に幼児期から青年期までい各成長過程における問題点又解決法を講演された。続いて行われた討論会では、人間というものの成長過程、「生きる」ということの本質的な論議を中心に進行した。

当日は、宇都宮支部会員の以外にも、宇都宮市青年団など多数の友好団体の青年、また友愛のOB顧問など多数出席し盛大に行われた。

「集い」を顧りみて

「地域社会を考える青年の集い」の実施した支部より次のような文面の反省の手紙が本部に寄せられました。

「いろいろ考えさせられる事がありました。一番に感じたことは何故、聴象が少ないかということです。日頃の活動が地域から遊離していて、小さな友愛支部というワク内のみに終始していたことの結果と思われます。今後は〝地域ぐるみ〟の方向で検討して、取り組んで行かねばと感じています。」

（T・G）

これは我々の日頃の問題点に対して非常に示唆に富んでいると思われます。

本部事務局では、なを検討を加えながらあらゆる行事を進めて行きたいと考えております。

「彼女の変心」を語る

品川 第五回支部研修会開く

語り合う品川支部会員たち

三月二〇日二一日の両日、第五回品川支部春季研修会が秩父の民宿長若山荘で開かれました。参加者一九名は予定が少々遅れ、秩父若山荘三時到着。

レクタイムが短縮されてしまいましたが、ソフトボールをして血の巡りを良くし、その後の盛り沢山のスケジュールに備えました。夕食後にまず本年度の各執行部の反省、活動報告を一時間行い、次に「将来を誓った彼女が変心」と言う手紙文をもとに自由討論をした。そして九時頃から皆が楽しみにしていた、新睦会に入り、和気あい〳〵に親密感を深めた。

二日目は朝九時から五、六人のグループに分れ「共稼ぎについて」「交際期間中のデート代について」「理想の異性像」のテーマについて話し合い、一時間後に全員でまとめを行い、次に「友愛について」中央常任委員の岡本さんより講議がありました。午後からは、春の陽差しを一杯に浴びながらいろいろなゲーム。楽しかった思い出を残し、帰途に着きました。

（記・山口信子）

中央日誌

3/1 世界青少年交流協会

第一三次日・中青年学生交流日本代表団出発（於 羽田空港）

6 地域社会を考える青年の集い（於 名古屋市）

7 早朝墓参会（於 谷中墓地鳩山一郎先生墓前）

8 地域社会を考える青年の集い（於 宇都宮市）

9 地域社会を考える青年の集い（於 東京都）

21 訪中団帰国（於 羽田）

23 第一一回中央常任委員会 於 本部事務所）

24 青少年育成国民会議第九回評議委員会（於 虎ノ門共済会館）

27 三重県支部連合会再建大会（於 桑名市・安永文化会館）

〝四人組批判〟の中国

訪中団員の二人、無事帰国

「とに角、人が多くて余っているという感じ」（和田）、「すばらしい修学旅行をさせてもらいました」（岡村）。世界青少年交流協会が派遣した訪中団に参加した和田厚子、岡村洋一両君は三月二一日帰国、その第一声はこうであった。二人とも、去る三月三一日まで日本女子大、日大の学生。そして今は社会人である。

中国は今、権力闘争の後始末の真最中、どこへ行っても、だれに会ってもまず「四人組批判」ばかり。訪問した幼稚園で見せてくれたのも四人組の「舞り」だったという。〝八億総四人組批判〟というところか。

しかし、この国に対する歓迎ぶりは今までと変わらず、丁重な受入れであったようだ。人民大会堂でのレセプションには廖承志中日友好協会々長も出席し、その他の訪問地でも革命委員会の副委員長が必ず出席していたという。

政変後の中国を見聞して来た二人の報告は、来月号に掲載する予定である。社会人一年生は今、疲れた体にムチ打って、執筆中とのことである。

タイブ事務局長来日へ

交流活動の協議に

マレーシアの本会の友好団体であるマレーシア青年クラブ（MAYC。本部クアラルンプール）の事務局長ダイブ氏と二名の役員が来日する。本会との交流活動を話し合うことが目的で、四月一八日から一週間滞在する予定である。

MAYCは四月八日～一〇日に全国大会を開催しており、そこでの決定事項などをたずさえての来日のようである。

センターが国立に

福田内閣 行財政簡素化の目玉

本会の会員にも、全国大会の会場などでなじみの深いオリンピック記念青少年総合センターが、文部省直轄、国立の社会教育施設に衣変えする。これは、福田内閣の行政改革、特殊法人の統廃合の方針にそって行政管理庁と自民党行財政特別調査会で一昨年から検討されて来たものである。

同センターは昭和三九年の東京オリンピックの際に選手村として使われたものを整備し、同四一年に青少年の宿泊研修施設、特殊法人オリンピック記念青少年総合センターとして再出発させたもので、敷地九万一千平方㍍、宿泊定員二五〇〇名の大施設である。

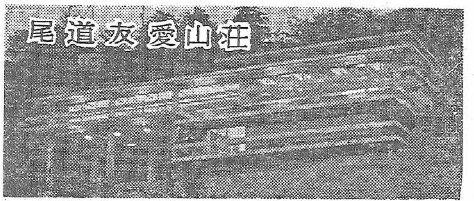
しかし近年、各方面からそのあり様について比判が出され、青少年よりも企業、官公庁、組合等の利用がはるかに多く一般旅館と同じだ、衛生面等の管理が悪いうえ管理職が多く運営体制、業務能率が悪いなどの指摘があった。このため行政当局や自民党の間で、国立競技場と統合し管理職数を減らすなどの改革が必要だとされていたものである。

中央の青少年団体の中では、性格の違う施設の統合は本来の機能を低下させるとして反対して来たが、現状改革の妙案もなく〝行財政の簡素化〟の声に押し切られた形である。

もち論、無用な天下り管理職に我々の利用料や税金の中から高い給料を払うことのないように改革することには、大賛成であるが、国立の施設になって本当に使いやすいものになるかどうか、今後の動きを注視したい。

友愛山荘

尾道友愛山荘



中国地方随一の景勝地である尾道千光寺公園内に三階建の快適な宿泊施設をほこり、太陽に輝く瀬戸内海を望む楽しい旅行に是非御利用下さい。

広島県尾道市千光寺公園内
尾道友愛山荘　TEL 尾道（0848）（22）5554
所長　高橋最宜

（ユースホステルの規則に従っています）
宿泊料金【1泊2食】
友愛会員1700円・YH会員1900円・一般2400円

軽井沢の夏は世界の避暑地としてまた冬のスケート王国としては勿論四季を通じての美しさは、若人の心をいやし明日への活動を約束いたします。

長野県北佐久間軽井沢町1608
軽井沢友愛山荘　TEL 軽井沢（02674）（2）2477
ペアレント　三浦満

軽井沢友愛山荘

磐梯友愛山荘

磐梯朝日国立公園の恵まれた景観の中に建って、東洋一を目ざす猪苗代スキー場と清澄な猪苗代湖を望み春夏秋冬それぞれの美しさをほこっています。

福島県耶麻郡猪苗代町字葉山
磐梯友愛山荘　TEL 猪苗代（02426）（2）3424
ペアレント　卯月研造

問合せ　財団法人　日本友愛青年協会
東京都文京区音羽1−7−1　TEL（03）（941）2801

あなたの企業環境は快適ですか？
ビル保守管理は？
警備は完全でしょうか？

TOYO JITUGYO
ビルデイング綜合管理
保障警備
（公官庁指定）

株式会社 東洋実業
東洋警備保障株式会社
代表取締役　吉川　智尭

本社　札幌市中央区南1条西2−6（長銀ビル）
TEL　011−261−9520㈹
夜間　011−251−2217
東京支社　東京都港区赤坂2−16−4
（赤坂麗水ビル）
TEL　03−586−2008
営業所事業所　岩見沢・苫小牧・室蘭・旭川・函館
小樽・岩内・留萌・帯広・滝川・
深川・恵庭・松前・静内・江差

営業品目
アスファルト系舗装工事
セメント系舗装工事
其の他各種舗装工事
舗装に付帯する各工事

株式会社 中嶋組
取締役社長　中嶋　信行
東京都世田谷区中町四−一七−一三
電話（七〇一）一一三一〜四番

営業品目
機械関係　システム開発、各種制御部VTR、VCR、システム設計、製作
化成品関係　ビニール、ポリエチレン、プラスチック
紙業関係　製袋、製函、紙工品、包装紙、段ボール
リプロ関係　青写真、マイクロ、トレース

ニッセー株式会社
本社　東京都千代田区外神田4−5−4
TEL　03　253−7581㈹
営業所　練馬、神田、京橋、川崎、沼津、板橋

北海道友愛山荘

春夏秋冬北海道の旅情を一層深かめる小樽市朝里川温泉にあり、特に夏のハイキング、秋の紅葉、冬は白樺林とスキーの山の趣がある。施設は、民間版青年の家として利用される。

〒047 小樽市朝里川温泉 2−670−3
青年の家 北海道友愛山荘
TEL 0134（54）7360
一泊二食 1,500円で各種研修施設あり
管理主事　照井孝由